ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会

選考コメント

キンダーブック
しぜん　あさがお
作：飯田聡彦　（フレーベル館）

この本はあさがおのそだてかたいろいろなあさがおがのっています。
ぼくは、あさがおのそだちかたのところがすきです。なぜなら、でわかんちょうだったから、本でよんでいてもわくわくします。
またあさがおをそだてたいです。

日滝小学校１年西組
梅谷（うめたに）　瑛大（えいた）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会

選考コメント

ばけばけばけばけ
ばけたくん　かくれんぼの巻
作：岩田明子　（大日本図書）

このえほんはおばけのばけたくんをさがすえほんだよ。
いろんなたべものにかくれていてさがすのがたのしいよ。
いちばんすきなのはアイスのページはちょっとむずかしいよ。
わたしはいもうとによんであげるとよろこんでくれるからうれしいです。

仁礼小学校１年仁組
竹前（たけまえ）　紅那（くれな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会

選考コメント

いきる
作：谷川俊太郎　（福音館書店）

むずかしいほんだけどいのちはたいせつだなとおもいました。それに、いきるということばいのちがうづいていることかなとおもいました。
ぼくはなげるということわらえるということおれるということのところがすきです。ぜひよんでみてください。

井上小学校１年松組
ふじおか　大せつ　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会

選考コメント

ぼくのへや
作：伊藤ハムスター　（KADOKAWA）

たぬきがすちこちばらばらしていろいろじゅんのものをさがしにいくおはなしです。さがすのがりしたのこまたじゅんのものをひろったのがおもしろかったです。それがおもしろいからぜひよんでみてください。

豊丘小学校１年
青木（あおき）　うたは　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

3人のまじょとドラゴン
なぞなぞようかい
作：おかもとやすお　（偕成社）

3人のまじょが、やしきに入っていなければたべられそうにならなかったのに入ってしまったから、こわいゆめみたいのをみなかったのに。
すごくこわかったです。

小山小学校２年西組
石川（いしかわ）　渚（なぎさ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ふまんがあります
作：ヨシタケシンスケ　（PHP 研究所）

パパとかのずるいことをいっぱいいったとびうんでもおもしろかった

小山小学校２年西組
山田（やまだ）　春汰（はるた）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

やきゅうしようぜ！
大谷しょうへいものがたり
作：とりごえこうじ　（世界文化社）

しぼくはこの本をよんで、やきゅうが上手になるしまうしまるおそわりました。大谷さんはどりをたいせつにしたりよくたべたり、たくさんねたり、なしざるれんしゅうをうやしたりごみをひろったりいろいろなこうどうをすることでやくだつとおもいました。ぼくも大谷さんを見ならってやってみようとおもいます。

日野小学校２年松組
かめ田（だ）　まき　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

あぶくたった
作：さいとうしのぶ　（ひさかたチャイルド）

本にでてくるねずみも読んでるんもたのしいきもちになる。いつ読んでも、おもしろいし、本嫌いな人のきもちがつたわる。

仁礼小学校２年仁組
近藤（こんどう）　朱莉（あかり）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

スイミー

作：レオニレオニ　（好学社）

スイミーは、きょうだいたちをなくしたけど、スイミーのそくりのきょうだいたちをみつけて元気をとりもどしてさいこ大きな魚をおいだしたところが、よかったとおもいます

小山小学校２年東組

市川（いちかわ）　あお　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ねぐせのしくみ

作：ヨシタケシンスケ　（ブロンズ新社）

ねぐせのしくみはおんなの子がでてきてねているあいだ、あたまがすごいねぐせになっているのがおもしろかったです。さいごにおかあさんが、しっかりドライヤーとくしをつかってやっともとにもどってよかったです。

小山小学校２年東組

かつの　みき　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

てのひらかいじゅう

作：松橋利光　（そうえん社）

ヤモリがしたをペロペロしているのは、かわいた目をなめていることを、はじめてしったし、おもしろかった。

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ちゅうもんが多いりょうり店

作：宮沢賢治　（岩崎書店）

さいごのサラダにしそうなところとちゅうのすのにおいをかけておりしくりぐるぐるして食べるところがこわかった。

小山小学校２年東組

しみず　ゆいか　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

あんなに あんなに
作：ヨシタケシンスケ　（ポプラ社）

いろいろなまい日があるんだな。たとえば「あんなにないてたのにもうこんな。」そういうことばがおもしろいです。

小山小学校２年東組
田中（たなか）　音葉（おとは）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ブルーロック
作：金城宗幸　（講談社）

いさぎよいちは、赤ちゃんのときは、びびりやだった。高校生中学生ときは赤ちゃんよりめっちゃせいちょうしたなとかんどうした。

小山小学校２年東組
中島（なかじま）　凛太郎（りんたろう）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ミルクのおふろ
作：アラン・メッツ　（長崎出版）

コランとベアがかびんをこわして、クレープをつくろうっていってこなだらけになったのがおもしろかったです。

小山小学校２年東組
花（はな）おか　りゅう生（せい）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ノラネコぐんだん カレーライス
作：工藤ノリコ　（白泉社）

カレーライスを作りすぎちゃったときのカレーがおいしそうでついついおなかがすいちゃう。

小山小学校２年東組
山岸（やまぎし）　ゆうり　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

つるばら村のパン屋さん

作：茂市久美子　（講談社）

この本の主人公はくるみさんです。くるみさんはいろいろな動物からパンづくりをたのまれました。一番さいしょに、お店に、若いクマが来ました。クマは、くるみさんに「タンポポのはちみつのパン」をたのみました。つぎは、月見が原にある「ホテル・フローラ」というところから「三日月パン」を三十こたのまれました。「ホテル・フローラ」はシナノキの後にありました。パン代のかわりに、ぱぐ（分）とあんないが入っていました。うれしくなったくるみさんに

日滝小学校２年東組

井浦（いうら）　千裕（ちひろ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

みんなでつくったクリスマス☆ツリー

作：キャロライン・ベイリー（福音館書店）

けがをしたうさぎがクリスマスツリーをかざれなくてかなしんでいました。それを知ったからすが森のなかまに知らせると森のなかまがうさぎのすあなの前にクリスマスツリーをたててくれました。目をさましたうさぎはとてもよろこんでいました。やさしいどうぶつたちにかんどうしました。すてきなお話でした。

旭ヶ丘小学校２年敬組

ましま　この花（か）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

トンネルのサバイバル

作：パクソンイ　（朝日新聞）

トンネルの中にとじこめられて、それでかじになったらみんなをたすけるために、マスクをはめて、みんなをたすけるところがかっこよかった。でもさいごのしゅしんのところに火の玉があったからそれはこわかった。

高甫小学校２年敬組

渡辺（わたなべ）　柚花（ゆずか）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ジッタとゼンスケふたりたび

作：くらさらら　（福音館書店）

ジッタとゼンスケが出てくる話です。わたしがすきなばめんはゼンスケとジッタがおしろについておとのさまやたぬきとのこったおりでかきごおりをたべるところです。わけはかきごおりをみんなで食べるのはしてもおいしそうだと思ったからです。

旭ヶ丘小学校２年敬組

しみず　かんな　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

学校では教えてくれない大切なこと 13
勉強がすきになる

作：入江久絵　（旺文社）

べんきょうが好になりそうなことがいっぱいまいてるし、べんきょうのもくひょうをたせいするにはどうしたらいいかが書いてあります。

日野小学校２年竹組

小布施（おぶせ）　咲那（さな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

はらぺこあおむし

作：エリックカール　（偕成社）

はらぺこあおむしますはたまごでそのつぎようちゅうになってそれでいろんなのをたべたらおなかがいたくなったけどおなかがいたいのもなおったらふとちょになってさなぎになってちょうちょになっていろんなことがあっておもしろかったとおもいました。

井上小学校２年松組

齊藤（さいとう）　莉央奈（りおな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

はじめて読むかいこくの物語
オズのまほうつかい

作：古藤ゆず　（Gakken）

ドロシーの家の外でたつまきがおきて、家がとばされました。カンザスに帰るために、かかしと、ブリキと、ライオンといっしょにオズに会いに行きました。「おろい西のまじょをたおしたらねがいをかなえてあげよう。」とオズが言ってドロシーは西のまじょをたおしに行きました。西のまじょに水をかけてまじょをたおしました。ぼくはそこがよかったと思いました。おもしろいのでぜひ読んでみてください。

井上小学校２年松組

西條（にしじょう）　類（るい）　さん

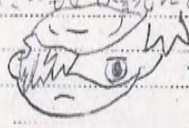
ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

はたらく細胞
－人体のふしぎ図かん－

作：はたらく細胞製作委員会　（講談社）

この本をおすすめする理由は、体の中の細胞がどんなはたらきをしているのかを人になって説明してくれてとてもわかりやすいからです。自分の体のしくみを学べます。みなさんもぜひ読んで見てください。



← 好中球

井上小学校２年竹組

中田（なかだ）　聖椛（せいか）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

しんぶんしで つくろう

作：よしだきみまろ　（福音館書店）

ぼくは、しんぶんしでつくろうという本をおすすめします。この本は、しんぶんしでいろいろつくれる楽しいエイゲがあってつくってみたいなと思いました。ぜひ読んでみてください。

井上小学校２年竹組

柳瀬（やなせ）　湊士（みなと）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ふたりはともだち

作：アーノルド・ローベル　（文化出版局）

この本には、がまくんとかえるくんが出てきます。その中でも「手紙」がおもしろいです。この話を読むとふたりはなかよしだと分かります。がまくんがまんなかろうこばせようとがんばるところがすきがまくんとかえるくんいっしょにしゃべってもわで紙をもってました。ぼくも、友だちから手紙をもらいたいと思いました。

豊丘小学校２年

さわだ　ひょうま　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

したのどうぶつえん

作：あきびんご　（くもん出版）

どうぶつたちがみんな顔や体がものやくだものなどほかのどうぶつにもなっていてとってもびっくりしました。みたことのないようなコアラやキリンなどのどうぶつたちがでてきました。一番おもしろかった場めんはぞうの場めんです。ぞうきんぞうやどうぞうなどのぞうがでてきておもしろかったです。またどうぶつをくだものにするなどのはそうがすごいなぁと思いました。わたしもそんなどうぶつえんに行きたいなぁと思いました。

豊丘小学校２年

萩生田（はぎうだ）　弥生（やよい）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

さらによく見ると…

作：しみず　（学研プラス）

本に書かれた絵をさらによく見ると、どうぶつが見えるから、それをさがすのが楽しかったです。

豊丘小学校２年

田中（たなか）　こうのすけ　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

やさしさとおもいやり

作：宮西達也　（ポプラ社）

かなしかったところは、ティラノサウルスとゴリラサウルスたちがけんかをしてるところです。かんどうしたところは、ケツアルコアトルスがゴリラサウルスをつれていこうとしたときにティラノサウルスがたすけておちそうでもあきらめないとこです。ぼくもあきらめない人になりたいなと思いました。

豊丘小学校２年組

森山（もりやま）　朝ひ（あさ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

なぞなぞのみせ

作：石津ちひろ　（偕成社）

なぞなぞのみせは、いろんななぞなぞがいっぱいあって五十もんもあるので、すごくおもしろかったです。なぞなぞのよこに絵も書いてあるのでヒントになるから、「ありがたいな。」と思いました。一番さいごのページには、答えも書いてあるのですごく楽しかったです。なにもようじがない時には、その本をよんでみるとおもしろいと思いました。わたしはこの本をよんだら、「すごくおもしろい。」と思いました。

豊丘小学校２年

市川（いちかわ）　光莉（ひかり）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

すっぱりめがね

作：藤村賢志　（教育画劇）

すっぱりめがねをかけるとなんでもみえるのでびっくりしました。おにぎりのぐがわからないときにやくだちます。なんでもみえるのですごくべんりです。こまかいものもくっきりみえるのでとてもべんりでいいです。みなにもあげたいし、わたしもほしいです。みなさんもぜひみてください。

豊丘小学校２年

まつしま　めい　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

スイミー

作：レオニレオニ　（好学社）

みんなが大きな魚をおいはらっているとこがいいと思いました。りゆうは、みんなできょうりょくしてるし、大きな魚をおいはらおうというきもちがこもっていたから、いいと思いました。あとわたしは、こんな、スイミーみたいになりたいなーと思います。

豊丘小学校２年

さわだ　ゆきな　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

おはなし（二人は友だち）

作：アーノルド・ローベル　（文化出版局）

がまくんはお話をかえるくんに聞かせてあげてやさしいなぁと思いました。かえるくんもがまくんがお話しを考えていた時「早くして」しか言わないでもしげてやさしいなぁと思いました。二人とも思いやりとかやさしさをわすれないようにしていてえらいなぁすごいなぁと思いました。

豊丘小学校２年

佐藤（さとう）　知歩（ちほ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ヘレン・ケラー

作：若林利代　（金の星社）

ヘレンは、3才いくらいからめとみみのびょうきになりました。
それから大人になって自分みたいなかたかしゆうなんのことを思ってかっどうしたのがかんどうしました。

森上小学校３年智組

黒澤（くろさわ）　瑞希（みずき）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

３分後にゾッとする話

作：野宮麻未　（理論社）

ゾッとすることがすきでよんでみたらほんとうにゾッとしました。一日に20ページよめました。こわい絵もあってさいごくらいにかわいい絵もでてきていいなと思いながらよんでいてかわいい絵のページになったと思ったらこわくてゾッとしておもしろかったです。

小山小学校３年東組

笠井（かさい）　さくら　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

びせいぶつのサバイバル

作：ゴムドリＣ　（オーソラ文庫）

びせいぶつって土の中とかきのこの中はごくいろいろなところにいたり、いろんな形のびせいぶつがいるんだなーと思いました。良いカビや悪いカビもいるんだと思いました。こうぼというびせいぶつはワインが作れると思ってびっくりしました。

小山小学校３年東組

小池（こいけ）　りのあ　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

みんなからきいたほっこり話3

作：鶴田法男　（岩崎書店）

この本はいろいろな人から聞いたこわい本でした。本にかいてある通りすこしこわいです。中には、「じごく行きのバス」や「オバケりん社」などほかにもたくさんこわい話があります。私は、この本がお気にいりです。ぜひよんでみてください。一回みたらはまりますよ。この本は話2話3話があります私は「4話も出てほしいな」と思います。

小山小学校３年東組

小山（こやま）　渓夏（けいな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

3分後にゾッとする話

作：並木伸一郎　（理論社）

ほんとうにこわくて、日本全国の不思議話がだいしゅうごうしてて、3分後じゃなくて、1分後でした！こわい話が、だーいすきな人にオススメ！ぜひ、よんでみてください！

小山小学校３年東組

にわ田（た）　いちか　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ベートーベン

作：越水利江子　（学研プラス）

伝記は見ない人も、多いと思います。でもこの本は、絵も色つきで、文字も大きくて、読みやすいです。このしゅるいの本も、ぜひよんでください。ほかにもいいところが、あります。たとえば、目の悪い人でも、文字が、読みやすいところです。あとえが、見やすいです。あらためましてぜひよんでください！

小山小学校３年東組

山岸（やまぎし）　花蓮（かれん）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

クララ・シューマン

作：ささきあい　（学研プラス）

クララが、さいのころ、1回聞いただけでひけたのがびっくりしました。クララがドイツからパリへ行こうとお父さんの反対にたのんで脱出作戦のはいさなにんろしがレンきったさ中でしたのという文が、悲しかった。クララが7さいで馬車にぶつかったのが感動しました。ぜひ、見て下さい。

井上小学校３年松組

高田（たかだ）　心陽（こはる）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

びんからだしてごらん

作：デボラ・マルセロ　（北村教育図書）

主人公のルウェリンという子がいました。ルウェリンは、こわい本やこわいえい画が大好きでした。けれど本当にこわいと思う事がきらいだった。はしゃぎたい気持ちや、はずかしい気持ちなどをビンに入れておし入れにしまいました。けれどおし入れはいっぱいになってしまいました。とうとう、ビンはわれて、気持ちがルウェリンの中にもどっていきました。ルウェリンは、どうすれば気持ちがかわらずに考えました。そして、さい後は、強い気持ちをまっすぐにみつめ、だきしめてから、空にかえす事ができるようになりました。ぜひ読んでみて下さい。

井上小学校３年松組

戸谷（とや）　僚介（りょうすけ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

１０分で読める伝記４年生（ルイ・ブライユ）

作：星明子　（Gakken）

10分で読める伝記4年生の本の中のルイ・ブライユという人がすごいなと思いました。

ルイ・ブライユは、3才の時に刃物を目にさしてかた目が見えなくなり、5才で両方の目が見えなくなりました。

ルイは十才で目の見えない人のための「もう学校」に入り、そこで自分のように目の見えない人たちが字を読めるように点字を作ったのがすごいなと思いました。

とても勉強になるのでぜひ、読んでみてください。

井上小学校３年松組

西條（にしじょう）　花緒（かお）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

しあわせのバケツ

作：キャロル・マックラウト
（デヴィッド・メッシング）

かなしかったり楽しかったりといろいろありました。
それでぼくがかんどうしたところはみんながよくしてしあわせなバケツをもっているのがかんどうしました。
ぜひよんでみてください。

井上小学校３年竹組

たまい　ゆうと　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

とことんざんねんないきもの事典

今泉忠明（監修）　（高橋書店）

はじめて知った動物などの名前があって、勉強になった。チョウザメは、サメににているだけが びっくりした。ダーウィンハナガエルはのどのふくろで子育てする。がこわかった。
「カカポは、はちみつのにおい。」がおもしろかった。

井上小学校3年竹組

禰宜田（ねぎた）　栞那（かんな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ぼくのトイレ

作：鈴木のりたけ　（PHP 研究所）

ぼくのトイレの本は家のトイレがつまらなくなったのでいろんなトイレにいくおはなしです。
おもしろいのはいろんなトイレにいくとかならずゴリラがかくれていてそのゴリラをさがすのがおもしろいです。ぜひよんでみてください。

井上小学校３年竹組

藤澤（ふじさわ）　希衣（きい）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ざんねんないきもの事てん

今泉忠明（監修）　（高橋書店）

この本は、面白い本です。いろいろなざんねんな生きものがいます。
ぼくがとくに気にいったのは、ティラノサウルスは、こっせつしがちです。ティラノサウルスは、やく、8cmの歯で、えものの骨もかみくだいたそうです。自分の体重をささえきれずにほねがおれた化石が見つかったそうです。
面白いので、ぜひ読んでください。

井上小学校３年竹組

ほり内（うち）　そう真（ま）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

どんなにきみがすきだかあててごらん

作：サムマクブラットニイ　（評論社）

ちいさなうさぎと、大きなうさぎいました。
ちいさなうさぎがどんなにきみがすきかあててごらん。といいました。おおきなうさぎがそんなことわかりないよ。といいました。
それでうでがうでまでとかこしからあそこまでとかないいろいろところがめちゃくちゃすきなんだなと思いました。

井上小学校３年竹組

勝山（かつやま）　とうご　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

マナーと礼儀

作：辰巳渚　（金の星社）

さいしょはマナーとれい儀がしらなかったけどこの本のおかげでしれました。

日滝小学校３年東組

青沼（あおぬま）　姫滉（ひいろ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

アーロと少年

作：スーザン・フランシス　（偕成社）

アーロのおとうさんとアーロがさいごにあえてよかったです。アーロのおとうさんがなくなったときがなしかったです。スポットがかぞくとあえてよかったです。アーロのおとうさんがなくなってなきそうになりました。

日滝小学校３年東組

浦野（うらの）　愛唯（めい）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

なぞなぞのみせ

作：くみこさん　（偕成社）

いろいろのなぞなぞがあってすごくむずかしいけど、3年かんばったらもうなぞなぞのみせのこたえが40までわかるようになりました。わたしはとくにお花のところのなぞなぞがたのしいです。だりたりぜんぶのなぞなぞがたのしかったです。

日滝小学校３年東組

中村（なかむら）　新奈（にいな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

うまくなる水泳

岩本健一（まんが）森謙一郎（監修）
（学研教育出版）

わたしは、水泳がすこしにがてだったけどこの本をよんで「水泳がもっと楽しくなりそうと思いました。おもしろかったところは、小学1年生の首くらさんが「ゴーストどうぞおさきだい」とテレビでできたせんしゅをいったのがおもしろかったです。かんどうしたところがかったのが感動しました。

森上小学校４年智組

あべ　まお　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

５４字の百物語

作：氏田雄介　（PHP 研究所）

意味が分からなくてクスクスしたり、こわかったりするのを54字で集めたりあるき未だかってなったりしたり、ゾクゾクしたり、かいとうもあるので、たしかにそうだなとなったり、「次はなんだろう」なったり、めくるたびに読むのが楽しくなってきたり、最のりでは54字の「百物語」という文から伝わるかたを人数で、それぞれ入れてすごいと思いました。1つ1つの54字の物語がすべてほぼ同じ感じではないので、ぜひ読んで見てください。

森上小学校４年智組

山岸（やまぎし）　笑里（えみり）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

病院のウラガワ

作：さとうあきひろ　（学研プラス）

かんごしが自分で使うしょうとくの量は多いときで1日で100mLがおもしろかった。看ごしは1日2万歩以上歩くのがびっくりした。ナースコールは1日で300～500回なるので1分に1回鳴っているような感じで家でもそういう音がきこえるそうなのでおもしろかった。

森上小学校４年智組

田幸（たこう）　優花（ゆうか）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

新 妖怪ナビ・ルナ⑪

作：池田美代子　（講談社）

陰陽師の父と妖怪の母の血を受けついだ「伝説の子」と言われているルナが仲間や世界がゆたかで幸せであるように自分の命までかけて妖界と人間界ふたつの世界を手にいれようとするカイリュウとさいごの力をふりしぼってルナがたたかっていて感動しました。さいごルナが死んでしまってかなしいけど世界の人をすくえることができたからよかったのかなと思います。

森上小学校４年智組

田尻（たじり）　陽菜（はるな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

3つのプレゼント

作：間所ひさこ　（学研プラス）

小人とくつやは小人となのにきょうにくつをつくってそれにきれいなくつをつくれてすごかった。けんじゅのおくりものは大事な物をうってまで相手に物をプレゼントするのが感動した。しあわせな王子は大事な体のほうせきをますしい人につばめでとどけてあげるのがやさしいし悲しくて感動した。本にあいろがあってあきないからおもしろい。

森上小学校４年智組

中野（なかの）　綾音（あやね）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

君の名は。

作：新開誠　（KADOKAWA）

おばあちゃんと三葉と四葉がすんでいた。四葉はふつうの高校生のはずだったが自分が仲になった日本一のイケメン男子にしてください。と神さまにおねがいしたら夢の中で男とかわっていた！夢の中だと思っていたけど本当にかわっていた。こんなかわってしまったものがたりをぜひよんでみてください。

森上小学校４年智組

水野（みずの）　瑛太（えいた）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

3分後にゾッとする話
立入禁止区域

作：野宮麻未　（理論社）

いつも使ってるその場所、安心して使ってる場所、本当に安全ですか？実はゾッとする場所かもしれません。そのような場所で本当におきそうな話がのってます。怖いか怖くないかはあなたしだいです。これはほかにもシリーズがありますが、この本は初めてわたしの体をふるわせた本です。ぜひ読んでみてください。

森上小学校４年仁組

阿部（あべ）　美桜（みお）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

超はっけん大図鑑５
日本を走る列車１９５

作：小賀野実　（ポプラ社）

この本は、日本を走る列車195のことがくわしく書いてあります。たとえば、「高崎線」「大宮（埼玉県）～高崎（群馬県）を走る路線で、電車は都内で乗りいれます。車いすの人が利用できるトイレもあります。」など、こんなふうに書いてあります。これを見れば、「電車はかせ」になります。ぜひ、これを見てください。

森上小学校４年仁組

岡田（おかだ）　陽和（ひより）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

なんちゃってことわざ辞典

作：中川ひろたか　（金の星社）

「ことわざ」には、長い年月、生きぬいてきた人の知恵と、生きるすべがつまっています。そんな昔からの「ことわざ」に対しての「なんちゃって」です。たとえば、「糞は急げ」意味はよいと思ったことは、ためらわずにすぐに実行しなさいです。この「ことわざ」を「なんちゃって」に変えると・・・「便は急げ」意味は、がまんしてはいけないです。いまの「ことわざ」みたいに、いつもの「ことわざ」とちがっておもしろい意味や言葉になって

森上小学校４年仁組

行田（ぎょうだ）　理紗（りさ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

アルプスの少女ハイジ

作：ヨハンナ・シュピリ　（Gakken）

小さいときに、両親をなくしてしまったハイジが、アルプスへ行って楽しくすごして、フランクフルトで暮らしたいと思うお話です。まず、アルプスで食べた夕食のヤギのミルクとチーズがとてもおいしそうでした。あと、山がもえる宝石みたいがすてきです。わたしの一番感動したのは、フランクフルトで字が読めるようになったところです。フランクフルトでの友だち、クララとなかよく本を読んでいたのが感動しました。ハイジがいない友だちをメッセンジャーになってなかよくしてあげてください。

森上小学校４年仁組

島田（しまだ）　里音（りおん）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ぼく、ドジオ。

作：いわいとしお　（小学館）

ぼくがおすすめするのは、ぼくドジオです。なぜかというと、ぼくはドジなことを知りたかったからです。ドジとはおにごっこすれば、すぐころんで、なわとびをすれば、あしにからまったりすることです。ぼくもなわとびすれば、たまにからまることがあります。めっちゃおもしろいのでよんでみてください。

森上小学校４年仁組

中島（なかじま）　けい人（と）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

おさかな みすゞこれくしょん

作：金子みすゞ　（金の星社）

金子みすゞさんの詩がこの一さつで、十一こも入っていて親しみやすいかわいいイラストがいっぱいあります。そして、この本をひらけば詩にこめた思いや、心にひびくやさしさが感じられます。とくに「わらい」という詩のもしもなみだがこぼれるように、こんなわらいがこぼれたら、どんなに、どんなに、きれいでしょう、という言葉がすてきだなと思いました。

森上小学校４年仁組

西脇（にしわき）　果歩（かほ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ひみつの花園

作：F・H・バーネット　（Gakken）

10年間もかぎがかかっているとざされた花園にはひみつがいっぱい。そのひみつをじるためゆうきを出してそのひみつにたちむかってください。ぜひおすすめします！

森上小学校４年仁組

藤澤（ふじさわ）　はるか　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ほねほねザウルス
いくぞ！なぞの王国ムシムシランド

作：グループアンモナイツ　（岩崎書店）

ぼくが好きなほねほねザウルスのシリーズです。これは、なぞの王国ムシムシランドに行ったベビーたちが、ムシムシランドの宝ものたちにこうげきをしたしまいます。それをベビーたちがある巨虫といっしょに戦う所がおもしろいです。そして、おすすめのポイントです。ぜひ読んでみてください。

森上小学校４年仁組

湯本（ゆもと）　朝陽（あさひ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ドロップイン！

作：あさだりん　（金の星社）

読んでいるとやめられない本。読んでいるとついふきだしてしまう本。「ドロップイン」これがこの本の合言葉。読んでいるとゆう気、あきらめない気持ちがわいてくる本。好きなことだから挑戦できる。そんなことを教えてくれる本。
ぜひ読んでみてください。

森上小学校４年仁組

吉見（よしみ）　香穂（かほ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ウルフィーはおかしなオオカミ？

作：ニコラ・シニア　（ほるぷ出版）

ウルフィーは、ブタのいえをふきとばそうとしたこともあるし、みんなのまえで、おばあさんやちいさい子どもをまるのみしたりふりをします。でも、ウルフィーのゆめはおかしづくりがすきなことをだれにもばれたくなくて、ブタはあさからばんまでウルフィをみはることにして、みんなにおかしづくりがすきだとしられて、げんかんをみたら、たくさんのてがみがあったことが、かんどうしました。

日滝小学校４年東組

田中（たなか）　希亜（のあ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ハムスターの研究レポート①

作：大雪師走　（偕成社）

ハムスターたちが大雪の家でカーテンをかじったり、かべをかじったり、いろんなことをするまんがです。ハムスターのいろんなことがかわいいところも書いてあります。ハムスタ研究レポートは①～⑥くらいきであるので、ぜひ読んでみてください！

小山小学校４年西組

青木（あおき）　良遥（よしはる）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

材料３つからのスイーツレシピ

作：八木佳奈　（金の星社）

もうすぐハロウィンだし、バレンタインに作りたいし、材料３つでできるからすごくかんたん。だから一人でも材料と道具を用意したらすぐできるからいい。ラッピングもかわいいしおすすめ！

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

空想科学読本②

作：柳田理科雄　（汐文社）

この空想科学読本は、テレビや本、えいがでは、あたりまえだと思っていることを科学で、調べて見ると、げんじつと、かけはなれていることもある、と言うことをあらたに発見できる、科学の本。日じょうでは、あたりまえのことを科学で調べてみよう！

小山小学校４年西組

中川（なかがわ）　志保（しほ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ダンシング☆ハイ①～⑤

作：工藤純子　（ポプラ社）

歌が上手だけど昔の悪い思い出のせいで人の前で歌えなくなった主人公のイッポ。サリナの友達になるかわりにファーストステップというダンスチームに入ったイッポは友達と悪い思い出をこくふくする友じょうの話。最初、はダンスが下手だったのにだんだん上手になってきているところがおもしろかった。

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

はたらく細胞

作：鈴木章一　（講談社）

体の仕くみを学べたり体にあるものの名前を知れたりします。赤血球は、さんそを　肺で受け取り、体のすみずみまで運んでくれたりします。赤血球はぶしへんでいてまるい形をしています。赤血球がどんな形かも知ることができます。とてもおもしろくて、体のことを知れるのでぜひ読んでみてください。

高浦小学校４年敬組

大野（おおの）　華矢（かや）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

お金のひみつ

作：藤子・F・不二雄　（小学館）

この本には、日本最大の紙幣の事や日本最大の金貨の事、お金のりしのことなどお金の事が知りたい時には、マンガやとちゅうの知識メモでくわしくおしえてくれるのでとてもよみやすい本だしおもしろかった。ドラえもんのマンガでは、道具をつかっても良い方行には、いかず、お金は、むだづかいせずけっかくてきにつかうということを知った。

井上小学校４年竹組

小林（こばやし）　佑衣佳（ゆいか）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

なぜ世界には戦争があるんだろう どうして人はあらそうの？

作：ミリアム・ルヴォー・ダロンヌ（岩崎書店）

およそ5000年前の青どうき時代に大きな国家ができていくつもの村がつくられました。
社会が生きていくために必要な量以上のものを生産し、富をたくわえられるようになると、他人がたくわえた富にも目がいくようになるということです。
より多くのものをもつようになると他人のさい産も手に入れたくなったそうです。

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

だじゃれ日本一周

作：長谷川義史　（理論社）

だじゃれ日本一周は北海道から九州までだじゃれがかいてあります。わたしのおもしろいと思っただじゃれは、福島県と長野県です。どういうしだじゃれかというとおしりをきれいにふいました。パンツのゴムがながのけん。おもしろいだじゃれはまだまだあるけど福島と長野がおもしろかったで。社会のおべんきょうにもなっていいと思いました。

井上小学校４年竹組
山岸（やまぎし）　杏奈（あんな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

ほんとにともだち？

作：如月かずさ　（小峰書店）

この本は、とても感動できるお話です。私がこのお話を読んで一番心にささった言葉は、「なんとなくわかるものさ。なんとなくでいいんだよ」というところです。なぜなら、もし自分が主人公のまあくんだったら ほっとするしやっぱり ぼくも たんくんと友だちなんだ！と思えるからです。だから、自分の友だちを思いうかべてこの本をみてみてください。

豊丘小学校４年
河野（かわの）　莉桜（りお）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

アブナイかえりみち

作：山本孝　（ほるぷ出版）

この本は、きけんな場面、おもしろい場面いろいろな場面がある本です。
ボムは、みんなでたすけあう所やスペシャルたんけんたいの1人のこせいや、おもしろい所がとても大すきです。
おもしろい時もあれば、みんなできょうりょくする場面もある、わくわくするお話しです。みなさんもぜひ読んでみてください

豊丘小学校４年
黒岩（くろいわ）　真央（まお）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

パンどろぼう

作：柴田ケイコ　（KADOKAWA）

さいしょは、まちのパン屋さんから、色々なパンをぬすんでいたけど、さいごに、りっぱなパンしょく人になったと分かってびっくりしました。そして、レシピを何日も何日もかけて考えて、とてもおいしいパンを作って、人気なパン屋になってすごいなと思いました。パンどろぼうが、色んなしゅるいのパンを作っていてすごいと思いました

豊丘小学校４年

坂田（さかた）　志織（しおり）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

大ピンチずかん

作：鈴木のりたけ　（小学館）

にちじょうの大ピンチがたくさんのっていて、とてもおもしろいです。たとえば、ねむれない、アイスがとけてきたなど、いろいろな大ピンチがのっています。大ピンチを、大ピンチレベルの大きさと５だんかいのおりやすさでぶんるいし、レベルのちいさいものからじゅんばんにしょうかいしてくれます。もちはこびにもべんりなコンパクトサイズです。
みなさんもぜひ、大ピンチずかんを読んでください。

豊丘小学校４年

田中（たなか）　莉都（りと）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

おさる日記

作：和田誠　（偕成社）

さいごのいみがわかるとちょっとこわいかもしれません
でも日記をよんでいるようでほんがきらいなんでも
かんたんによめます。
これはだいぬいのどうしょさるのせいちょう
していくストーリーからぼくしんちゃんのようたいは
なんだったのかちょっとスッキリなおりはなしです。
わたしはさいごのことをかんがえながらかきました。
ぜひ、よんでみてください。

豊丘小学校４年

佐藤（さとう）　千愛（せら）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

七不思議神社〔破られた結界〕

作：緑川聖司　（あかね書房）

〔破られた結界〕と、書いてあってどうゆう意味かなと思ったけど表紙をめくったらーおひさま食堂にやってきた、不思議な女の子。こまっている女小学生のために、リクたちができることって……!?と書いてあってとてもおもしろそうなので読んでみたら。とてもおもしろいのでぜひ読んでみてください!!

七不思議神社

森上小学校４年智組

大澤（おおさわ）　有果（ゆか）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

子犬のきららと捨て犬の未来

作：今西乃子　（岩崎書店）

子犬のきららはちいさいときにすてられてほご活動をする人の家にあずけられます。その家で右後のあしのあしくびがない犬未来と出会いくらす日常をえがいた物がたりです。犬の未来は人間に足首を切られてすてられてしまった犬ですが、きららに人間はこわい人だけではないとおしえていて人間をあんまりこわがっていなくてすごいと思いました。

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

風船教室

作：吉野万理子　（金の星社）

この本の主人公時生は、お父さんとの2人ぐらしです。そんなある日、突然お父さんが「時生、引越すぞ。」と言ました。母方のおじいさんの家から小学校に通うようになった。七星小学校では名札のかわりに風船が使ってあるのです。そんな時生のようすを絵がいているのがこの作品です。この作品では最後になぜ転校することになったのかなどの理由がわかるのでとてもおもしろい作品です。なのでぜひよんでみてください。

井上小学校５年竹組

横江（よこえ）　菜和（なごみ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

あれからもうひとりのぼくへ

作：相川郁恵　（岩崎書店）

この本は、パラレルワールドという世界が「あれ」と「ぼく」が入れかわってしまう本です。ページを進めていけばどうやって元の世界にもどれるか智（さとし）君といっしょに考えるのがとてもおもしろくて良い所です。最後にあれ、智（さとし）はぼくと向きあえるのがステキだと思いました。ぜひこの本を読んでみてください。

日滝小学校６年西組

返町（そりまち）　心実（ここみ）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

いろどり屋

作：廣嶋玲子　（静山社）

このお話は、「十年屋」というお話の、ばんがいへんです。魔法街という魔法使いたちがお店をやっているところの一つのお店の話で、「テン」という男の子がでてきます。「テン」は、あらゆるいろいろなものからいろいろな色をつくりだせる魔法をつかえます。とても不思議でおもしろいのでぜひ読んでください！

高甫小学校６年敬組

湯本（ゆもと）　愛絆（あいな）　さん

ぼく・わたしのおすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会
選考コメント

動物と話せる少女リリアーネ1
動物園は大さわぎ

作：タニヤ・シュテーフナー　（学研教育出版）

この本の主人公は、リリアーネという小学四年生の女の子です。リリアーネは「動物と話せる」という秘密を抱えています。秘密を抱えているからこそ友達との関係が難しいですが、自分なりに秘密と向き合い、動物に寄りそう姿を応援したくなります。また、イザヤという男の子とのかけ合いがとても面白いです。私もリリアーネのように前向きに生活したいと思えました。この本はシリーズ作品なので、ぜひ読んでみてください。

豊丘小学校６年

後藤（ごとう）　咲空（そら）　さん